

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 TDCソフト株式会社
 コード番号 4687 URL <https://www.tdc.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 裕嘉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 (氏名) 尾崎 集一 TEL 03-6730-8111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	35,197	9.0	4,068	6.0	4,254	8.5	3,000	13.1
2025年3月期第3四半期	32,287	12.3	3,836	31.7	3,921	16.6	2,653	17.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,316百万円(23.3%) 2025年3月期第3四半期 2,689百万円(15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	63.51	—
2025年3月期第3四半期	56.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	29,457	22,961	77.9
2025年3月期	28,286	20,881	73.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 22,961百万円 2025年3月期 20,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	8.1	5,100	6.9	5,200	6.6	3,520	2.5	74.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	50,227,200株	2025年3月期	50,227,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,916,105株	2025年3月期	3,088,605株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	47,241,359株	2025年3月期3Q	47,129,609株

(注) 期末自己株式数には、「役員株式給付信託(BBT)」及び「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2026年3月期3Q 527,900株、2025年3月期 700,400株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2026年3月期3Q 597,636株、2025年3月期3Q 709,433株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加により、緩やかな回復基調を維持しています。一方で、物価上昇や海外情勢の不確実性などにより、先行きは引き続き不透明な状況となっております。

情報サービス産業におきましては、企業の競争力強化を目的としたデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）関連投資が継続しており、基幹領域を含むクラウドシフトの進展や、データ活用・業務プロセス高度化に向けた取り組みが広がっています。また、生成AIについては、業務効率化に向けた実証段階から、ガバナンス整備を含む全社的な活用へと議論が進んでおり、生産性向上の観点から重要性が高まっております。

このような環境の中で、当社グループは2025年4月から2028年3月における中期経営計画「Be a Visionary System Integrator」を策定しております。社会状況や技術動向の一層の変化に伴い、お客様が抱える課題はますます複雑かつ多様化し、本質的で価値の高い貢献が求められている中で、当中期経営計画では、一步先の未来に向けた先見性を磨き、卓越した開発技術とサービスを提供していくことで、お客様の唯一無二の存在となり、長期的な成長を実現することをビジョンに掲げております。

このビジョンを実現するために、当社グループは二つの基本戦略を定めております。

一つ目の「専門性・知見の多角化と高度化」では、専門性の高い分野をより多岐にわたって保有することで、ますます複雑化する顧客課題への対応力を向上させることを目指します。

二つ目の「顧客の価値につなげる提案力の向上」では、要素技術の特性と顧客の状況や戦略に対する深い理解に基づき、ITを効果的に活用して顧客価値を最大化する提案力を高めることを目指します。

当第3四半期連結累計期間においては、各事業分野は堅調に推移し、売上高は増収を達成いたしました。利益面では、引き続き中期経営計画に基づき将来の事業拡大に向けた投資やM&Aを積極的に実施したものの、高付加価値事業の伸長や増収効果により、営業利益は増益となりました。投資に関する具体的な取り組みとしては、AI・セキュリティ等の先端要素技術の獲得や人財投資の観点から、キャリア人財を含めた採用拡大や教育施策の強化を進めております。

なお、NTTグループの再編に伴う株式会社NTTデータグループの株式売却により特別利益が発生しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は35,197百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は4,068百万円（前年同期比6.0%増）、経常利益は4,254百万円（前年同期比8.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,000百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

【分野別の取組状況】

<ITコンサルティング&サービス>

ITコンサルティング&サービスは、お客さまのDX推進に向けたIT戦略やシステム化構想の立案、技術コンサルティング、最新の技術や開発手法の教育サービスの提供や、自社開発のクラウドアプリケーションサービスの提供、BI（注1）/DWH（注2）、ERP（注3）/CRM（注4）等のソリューションサービスの提供を行っております。当第3四半期連結累計期間は、ITサービス管理や金融機関、製造業向けのクラウドマネージドサービス関連のSaaS（注5）ソリューションサービス案件が堅調に推移し、売上高は前年同期比18.6%増収の6,514百万円となりました。

<金融ITソリューション>

金融ITソリューションは、金融業向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションの提供を行っております。当第3四半期連結累計期間は、銀行及び保険関連のシステム開発案件等が堅調に推移し、売上高は前年同期比5.2%増収の14,979百万円となりました。

<公共法人ITソリューション>

公共法人ITソリューションは、流通業、製造業、サービス業や公共向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションの提供を行っております。当第3四半期連結累計期間は、鉄鋼業や官公庁・教育機関向けの開発案件等が堅調に推移しており、売上高は前年同期比6.3%増収の9,235百万円となりました。

<プラットフォームソリューション>

プラットフォームソリューションは、ITインフラの環境設計、構築、運用支援、ネットワーク製品開発、ネットワークインテグレーション等の提供を行っております。当第3四半期連結累計期間は、銀行や保険、運輸業、エネルギー関連企業向けクラウド関連のインフラ構築案件が堅調に推移し、売上高は前年同期比15.4%増収の4,468百万円となりました。

(単位：百万円)

分野	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
ITコンサルティング&サービス	5,492	17.0%	6,514	18.5%	+18.6%
金融ITソリューション	14,236	44.1%	14,979	42.6%	+5.2%
公共法人ITソリューション	8,685	26.9%	9,235	26.2%	+6.3%
プラットフォームソリューション	3,872	12.0%	4,468	12.7%	+15.4%
合計	32,287	100.0%	35,197	100.0%	+9.0%

(注) 1 BI : Business Intelligenceの略。社内の情報を分析し、経営に生かす手法。

2 DWH : Data Ware Houseの略。データ分析や意思決定のために、基幹系など複数システムから必要なデータを収集し、目的別に再構成して時系列に蓄積した統合データベースのこと。

3 ERP : Enterprise Resources Planningの略。基幹系情報システムのこと。

4 CRM : Customer Relationship Managementの略。顧客管理システムのこと。

5 SaaS : Software as a Serviceの略。サーバで稼働するソフトウェアをサービスとして提供する形態のこと。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,170百万円増加し、29,457百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して587百万円減少し、22,660百万円となりました。その主な増減要因は、有価証券が2,103百万円、仕掛品が424百万円増加したものの、現金及び預金が2,921百万円、その他に含まれる前払費用が135百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,758百万円増加し、6,797百万円となりました。その主な増減要因は、投資有価証券が1,754百万円増加したことによります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して802百万円減少し、6,068百万円となりました。その主な増減要因は、その他に含まれる預り金が192百万円、買掛金が155百万円増加したものの、未払費用が822百万円、未払金が195百万円、未払消費税等が172百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して107百万円減少し、428百万円となりました。その主な増減要因は、その他に含まれる長期未払費用が47百万円、役員株式給付引当金が35百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2,080百万円増加し、22,961百万円となりました。その主な増減要因は、利益剰余金が1,709百万円、その他有価証券評価差額金が316百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月12日付「2025年3月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,250,091	10,328,270
受取手形、売掛金及び契約資産	7,474,236	7,370,170
有価証券	2,000,000	4,103,432
仕掛品	95,290	519,514
その他	428,081	338,884
流動資産合計	23,247,699	22,660,272
固定資産		
有形固定資産	916,212	824,875
無形固定資産	90,312	196,782
投資その他の資産		
投資有価証券	3,077,253	4,831,972
関係会社株式	—	30,692
繰延税金資産	138,650	69,070
差入保証金	779,597	804,949
その他	37,095	39,031
投資その他の資産合計	4,032,597	5,775,716
固定資産合計	5,039,122	6,797,374
資産合計	28,286,821	29,457,647
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,885,043	2,041,026
短期借入金	531,000	610,000
未払金	656,804	461,148
未払費用	2,124,663	1,302,329
未払法人税等	848,043	777,830
未払消費税等	507,999	335,600
役員賞与引当金	156,272	70,210
受注損失引当金	—	45,414
その他	160,515	424,673
流動負債合計	6,870,341	6,068,233
固定負債		
従業員株式給付引当金	48,259	34,091
役員株式給付引当金	89,720	54,331
退職給付に係る負債	41,563	39,592
資産除去債務	233,322	235,086
その他	122,335	64,976
固定負債合計	535,201	428,079
負債合計	7,405,542	6,496,312

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	970,400	970,400
資本剰余金	986,256	986,256
利益剰余金	18,588,901	20,298,344
自己株式	△1,278,964	△1,224,411
株主資本合計	19,266,592	21,030,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,614,686	1,930,744
その他の包括利益累計額合計	1,614,686	1,930,744
純資産合計	20,881,279	22,961,334
負債純資産合計	28,286,821	29,457,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
売上高	32,287,212	35,197,123
売上原価	25,256,182	27,741,427
売上総利益	7,031,030	7,455,696
販売費及び一般管理費	3,194,169	3,387,003
営業利益	3,836,861	4,068,693
営業外収益		
受取利息	3,618	11,989
有価証券利息	26	18,488
受取配当金	82,253	103,764
投資事業組合運用益	—	22,771
助成金収入	402	10,402
その他	8,659	22,823
営業外収益合計	94,959	190,240
営業外費用		
支払利息	4,006	4,159
投資事業組合運用損	6,248	—
その他	0	—
営業外費用合計	10,255	4,159
経常利益	3,921,565	4,254,773
特別利益		
投資有価証券売却益	—	166,275
特別利益合計	—	166,275
税金等調整前四半期純利益	3,921,565	4,421,049
法人税等	1,268,084	1,420,717
四半期純利益	2,653,481	3,000,331
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,653,481	3,000,331

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,653,481	3,000,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,555	316,058
その他の包括利益合計	35,555	316,058
四半期包括利益	2,689,036	3,316,389
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,689,036	3,316,389
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社グループは、開発から運用・管理までの一貫したシステム開発サービス及びシステム製品の販売等を一体とするシステム開発事業を営んでおり、当社グループにおけるセグメントは「システム開発」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	116,160千円	103,275千円
のれんの償却額	17,447千円	17,447千円